

## TRACESAVE Install Manual

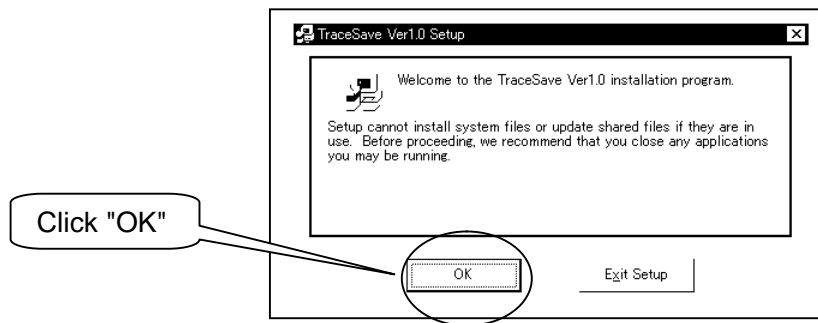
Please install based of the following procedure.

- (1) Extract the installation files from the TraceSave .zip installation file.  
(A .zip file extraction application is required.)

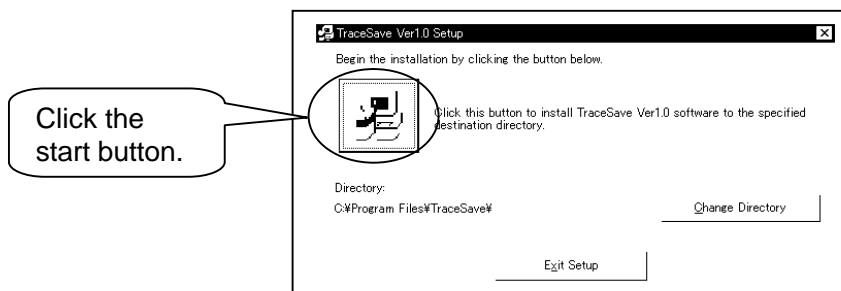
Name ^	Type	Size
setup.exe	Application	138 KB
SETUP.LST	MASM Listing	4 KB
TraceSave.CAB	PowerArchiver CAB File	971 KB
TRB_SAVE_SOFT_MANUAL_E_Rev0.tif	TIFF image	71 KB

- (2) Execute "setup.exe".

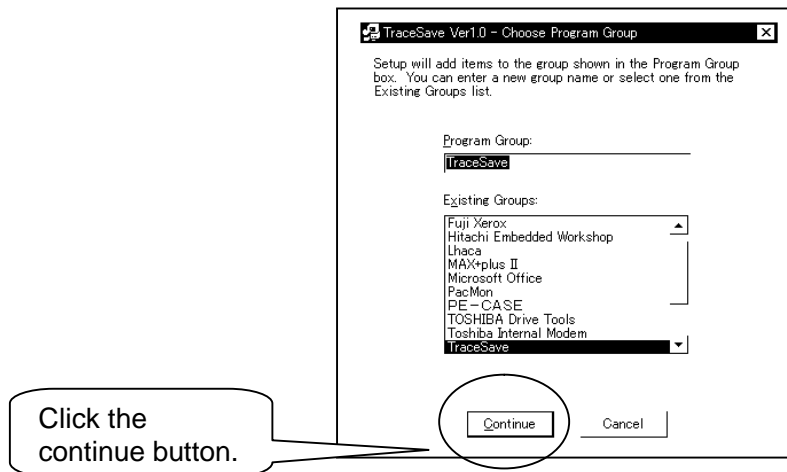
- (3) The installer will launch and the following screen will be displayed. Please click "OK".



- (4) When in the installation directory, click the start button, without changing the default directory. (The directory is changed for advanced use only)

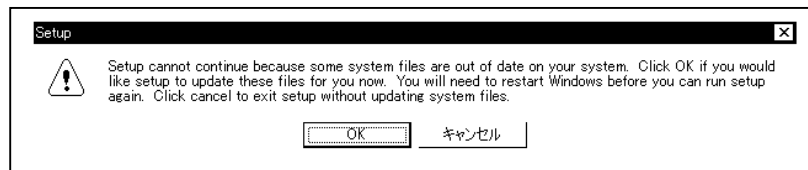


(5) When in the Start menu group selection window, click the continue button without changing the default selection. Selecting a different group which will be registered into the start menu is for advanced use only.



(6) The pop-up message "TraceSave Verx.x Setup was completed successfully" will be displayed.

**NOTE:** The following message may be displayed before the installer launch screen (3) is displayed. In this case, please push the "O.K." button according to directions. After clicking "OK", the personal computer will automatically reboot. Please try again from step (2), the "setup.exe" execution.

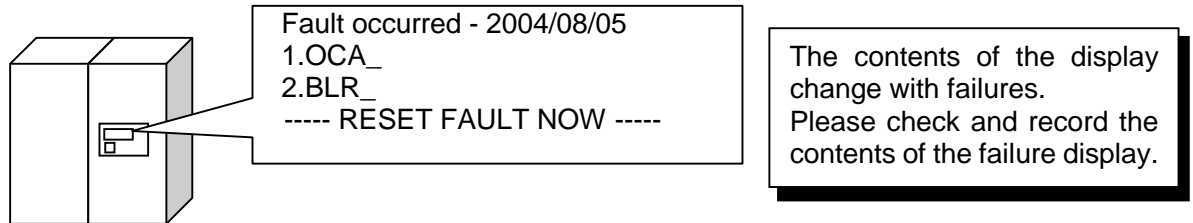


## TRACESAVE Operation Manual

This software is PC software for downloading the trace back data from the drive.

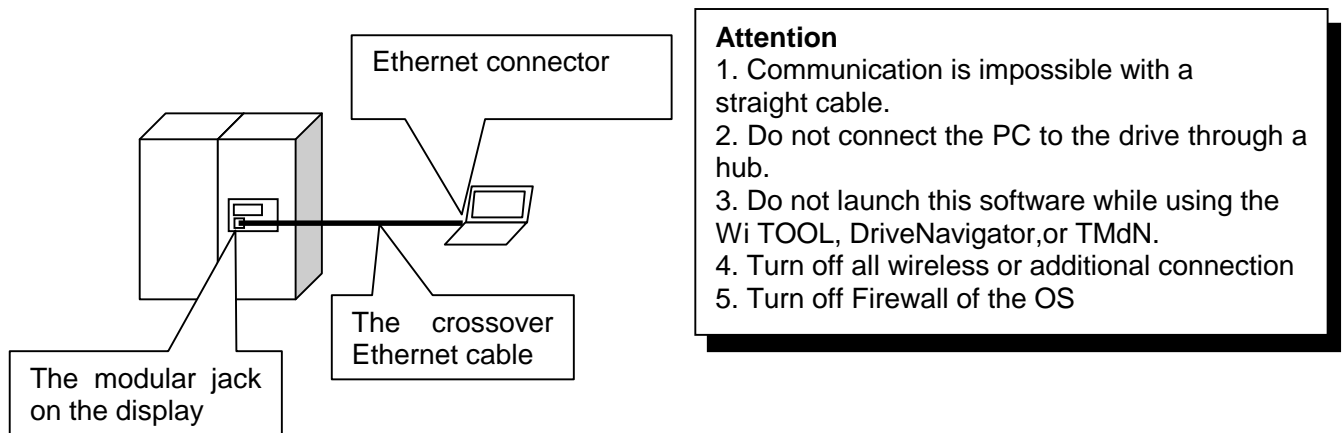
The operation steps are shown below.

(1) Check the drive equipment failure display.



(2) Connect the personal computer to the drive equipment.

Please connect the personal computer to the drive equipment with a crossover Ethernet cable.



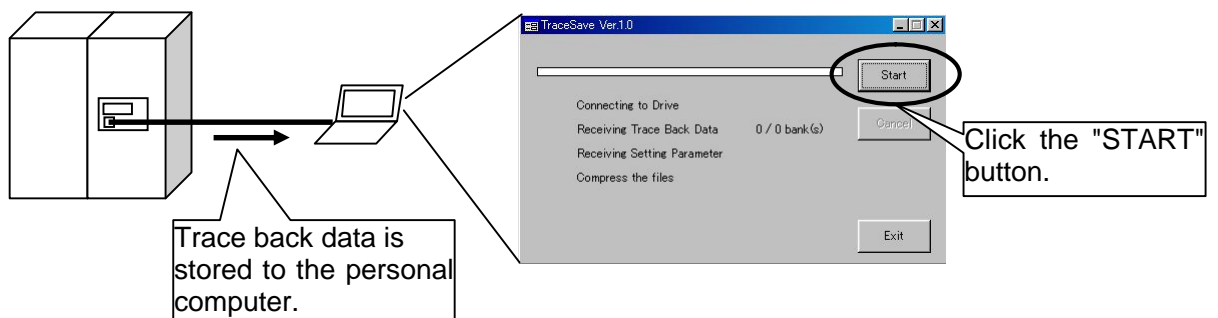
Please check the network connection icon in the Windows Task tray.

	: Establishing connection	-> Please wait while the connection is established
	: Connected	-> Communication to the drive is available
	: Limited connection	-> Communication to the drive is available
	: Not connected	-> There is a problem with the cable or LAN port

Sometimes, there may be bad compatibility between the drive LAN and PC LAN driver. In this case, using a Switch, HUB or router may solve this problem.

(3) Download the trace back data from the drive.

Launch TRACESAVE. Click the "START" button to download the trace back data from the drive. The trace back data will begin to transfer from the drive to the PC.



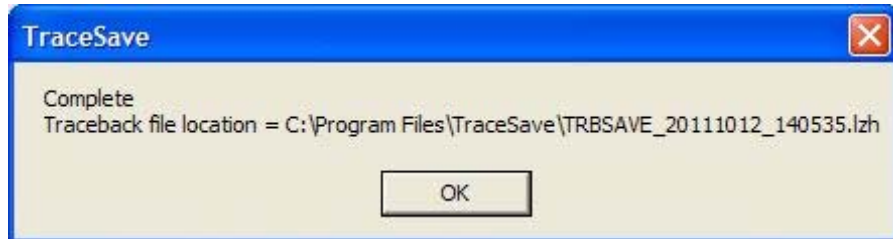
(4).Please send the trace back data to our company.

The trace back data is stored in following folder. (It may be different, and is dependent on the software version.)

(a) In Ver. 1.x

C:\Program Files\TraceSave\TRBSAVE\_\*\*date\_time\*\*.lzh

The message dialog box, shown below, will pop-up when the download is completed. It will display the folder path.



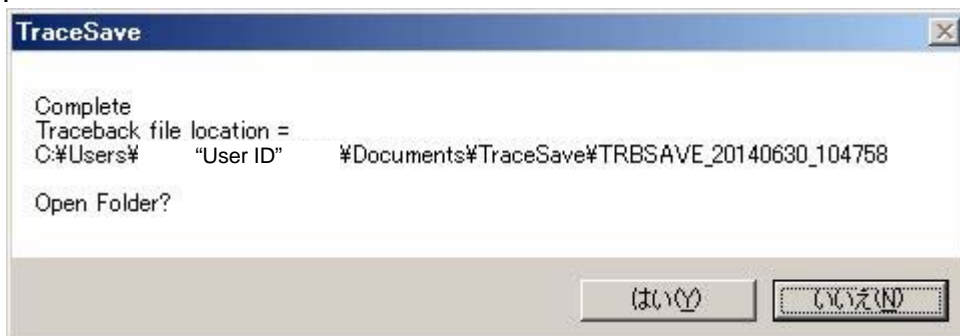
In Windows7 with virtual store enabled, it may be located in:

C:\Users\"User ID"\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\TraceSave

(b) In Ver.2.x or later

"My document or Document"\TRBSAVE\_\*\*date\_time\*\*.lzh

The message dialog box, shown below, will pop-up when the download is completed. Clicking "Yes (Y)" will open this folder.



The file name of "date\_time" shows the date and time of downloading and is explained in the example below.

Example: TRBSAVE\_20140630\_104758.lzh

2014	06	30	10	47	58
Year	Month	Date	Hour	Minute	Second

Please send this .lzh file to our company by e-mail.

(If you installed this software to another folder, the folder storing the trace back data will be changed.)

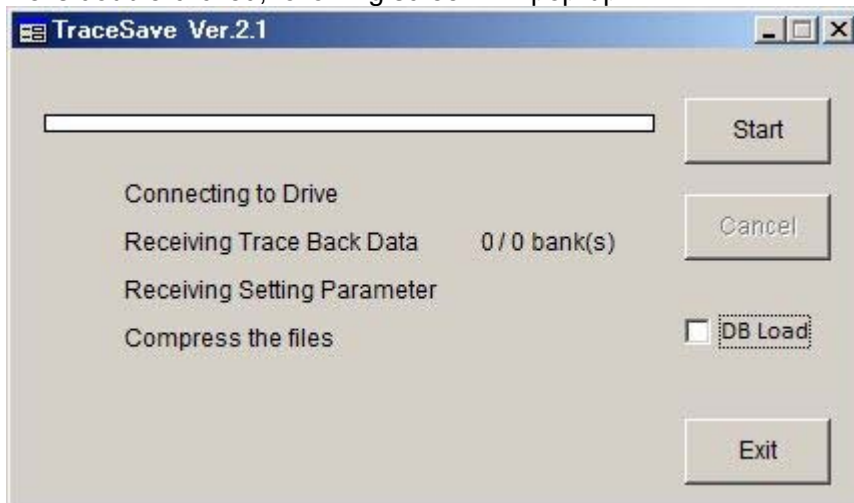
Note: In the event your company policy does not allow .lzh files from being transferred, the TRBSAVE\_20140630\_104758.lzh file may not reach us; In this case, please change the file name as shown below and send the file to our representative:

TRBSAVE\_20140630\_104758.lzh -> TRBSAVE\_20140630\_104758.doc

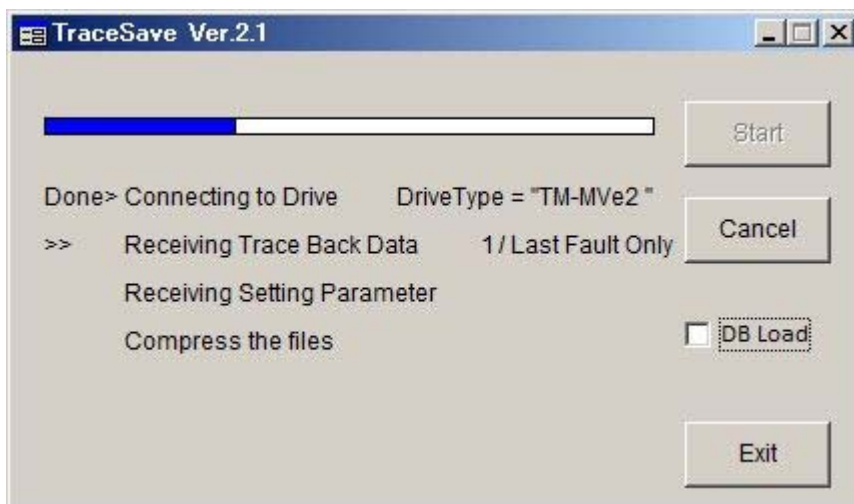
(5) Only last fault loading option. (Only Ver.2.x or later)

Under the installation folder, the OnlyLastFault.zip file is stored, it contains a short-cut with the command line "/".

When this short cut file is double-clicked, following screen will pop-up.



When the "Start" is clicked, it will download only last fault event.



(6) Database loading option (Only Ver.2.x or later)

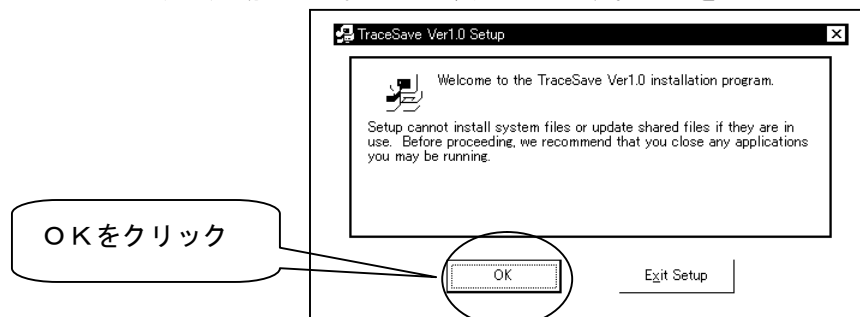
The "DB Load" check box, for the database loading option, is available when the "OnlyLastFault" option is used.

## トレースバック吸出しソフト（TRACESAVE）インストールマニュアル

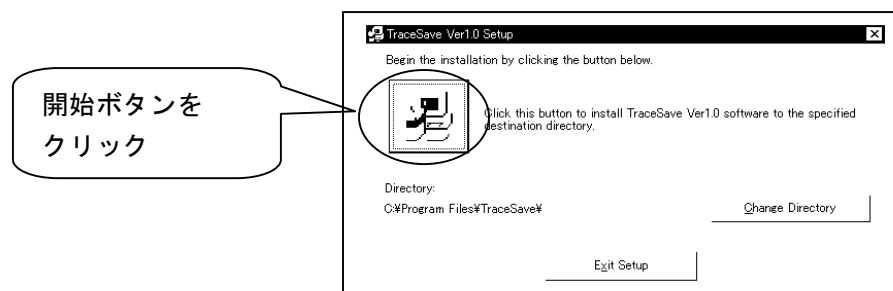
本ソフトは事前にパソコンへのインストールが必要です。

下記手順に従ってインストールを行ってください。

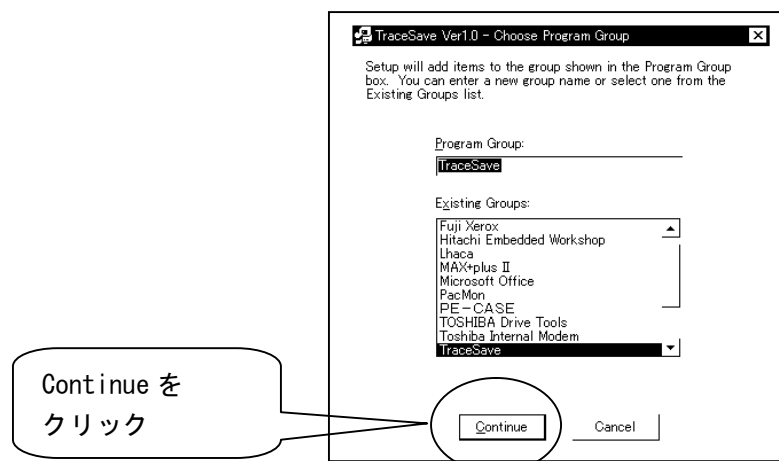
- (1) 本ソフトのインストーラ（TraceSave\*.zip）を解凍します。  
（解凍用のソフトウェアはお客様がご用意ください。）
- (2) 解凍された setup.exe を実行します。
- (3) インストーラが起動して下記画面が表示されます。OKをクリックして下さい。



- (4) インストール先のフォルダを指定します。変更せずに開始ボタンを押して下さい。

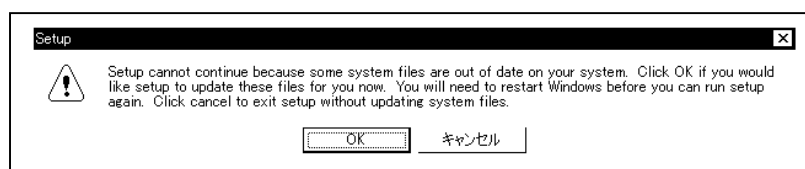


- (5) スタートメニューに登録するグループを選択します。変更せずに「Continue」を押して下さい。



- (6) 「TraceSave Ver1.0 Setup was completed successfully」が表示され、インストール完了です。

**ご注意：**（3）の画面が表示される前に、下記のメッセージが表示されることがあります。この場合は指示に従って「OK」ボタンを押して下さい。パソコンが自動で再起動しますので、もう一度（2）の操作から実施下さい。



## パソコン側の設定

ご使用になる前にパソコン側の設定が必要です。以下をご確認ください。

### (1) 無線LANの無効化

本ソフトウェアは有線LANを使ってドライブと通信します。無線LANは無効にしてください。

無線LANが有効になっていると、そちらに通信して、ドライブと接続できない場合があります。

### (2) Windows ファイアーウォールの無効化

Windows ファイアーウォールが有効になっていると、本ソフトウェアの通信がブロックされて、ドライブと接続できないことがあります。通信する際には一時的に無効化してください。

### (3) ウイルス対策ソフトの無効化

ウイルス対策ソフトの中にも本ソフトウェアの通信をブロックするものがありますので、一時的に無効化してください。

## トレースバック吸出しソフト（TRACESAVE）操作説明書

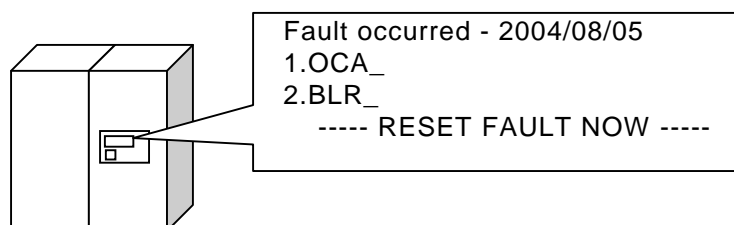
本ソフトはドライブ装置からトレースバックデータを吸出すためのパソコンソフトです。

本ソフトをご使用の前に、パソコンへのインストールが必要です。

インストールを実施してからお使いください。

以下に操作の流れを示します。

### （１）ドライブ装置故障発生

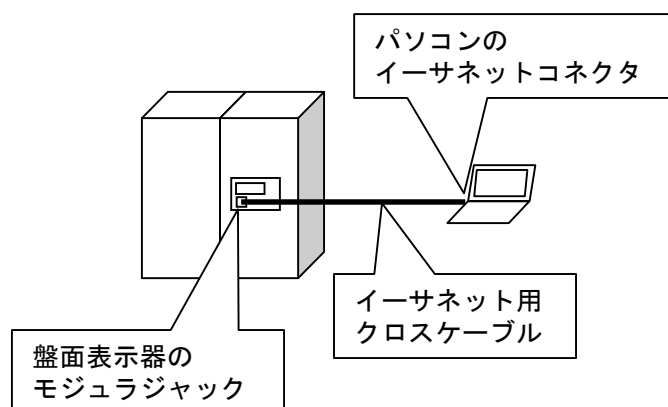


表示内容は故障によって異なります。  
故障リセットをする前に表示された故障の内容を紙などに記録してください。

### （２）パソコン接続

TRACESAVEがインストールされたパソコンを接続します。

接続にはイーサネット用クロスケーブルをご使用ください。

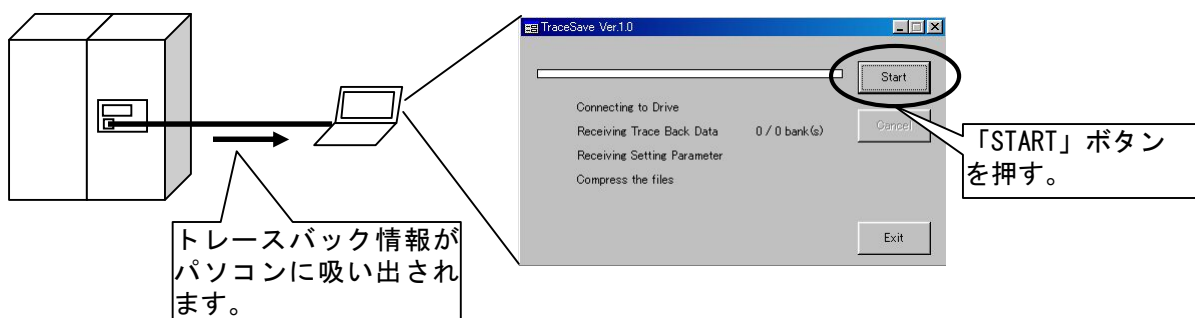


#### ご注意

- ・ストレートケーブルでは通信できません。
- ・複数のドライブ装置がハブで接続された構成（１対N構成）では通信できません。ドライブ装置をハブから外し、パソコンと１対１接続にしてください。
- ・ドライブ装置がWi TOOL または DriveNavigator（以下ツール）と通信中の場合は、本ソフトは通信できませんので、ツールを終了させてください。

### （３）トレースバック情報吸出し

パソコンでTRACESAVEを起動し、「START」ボタンを押してドライブ装置からトレースバック情報を吸出します。





## (4) トレースバック情報を送付

吸い出されたトレースバック情報はLZH圧縮されます。ソフトウェアのバージョンによって保存されるフォルダが異なります。

## (a) バージョン 1.x 以前

下に示すメッセージボックスが現れ、ファイルが生成されたフォルダ名を表示します。

「C:\Program Files\TraceSave\TRBSAVE\_日付時刻.lzh」

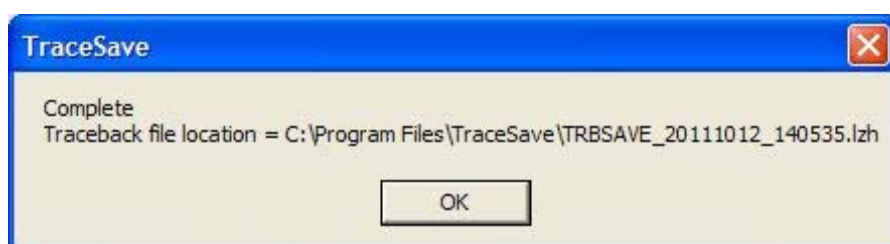
(「日付時刻」は故障発生した日付時間が入ります。例：20040805\_154612) ↓

年(4桁)月(2桁)日(2桁)\_時(2桁)分(2桁)秒(2桁)

(下線部分はこのソフトをインストールしたフォルダです。インストール先を変更した場合はこのパスも変わります。)

ご使用の OS が Windows7 以降でバーチャルストア機能が有効の場合、メッセージボックスとは異なるフォルダ名となることがありますので、ご注意ください。

「C:\Users\”ユーザ名”\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\TraceSave」なども併せてご確認ください。



## (b) バージョン 2.x 以降

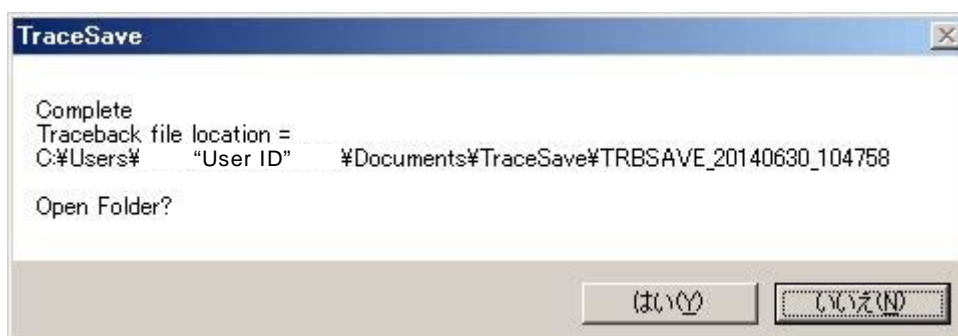
下に示すメッセージボックスが現れ、ファイルが生成されたフォルダ名を表示します。メッセージボックスの”はい(Y)”をクリックすることで、ファイルが生成されたフォルダを自動的に開きます。

「C:\Documents and Settings\”ユーザ名”\My Documents\TraceSave\TRBSAVE\_日付時刻.lzh」 (Windows XP)

または

「C:\Users\”ユーザ名”\マイ ドキュメント (Documents)\TraceSave\TRBSAVE\_日付時刻.lzh」 (Windows 7 以降)

(「日付時刻」は故障発生した日付時間が入ります。例：20040805\_154612) ↓

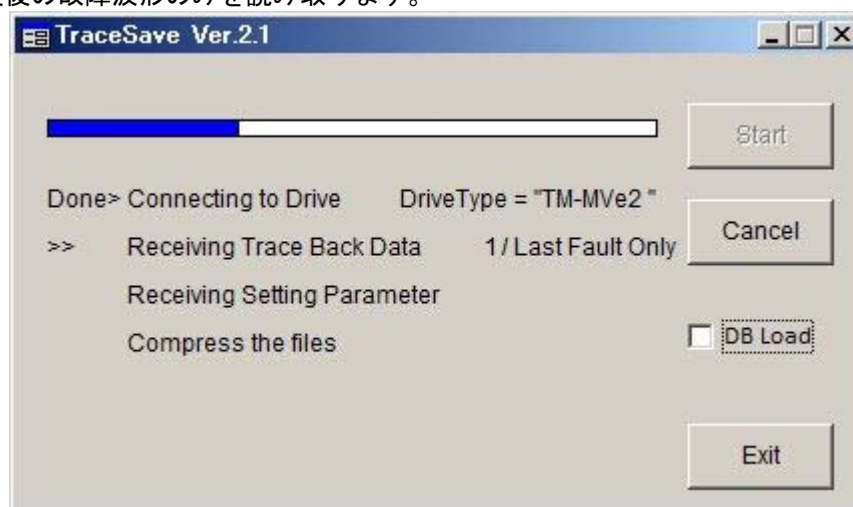


\* 生成されたLZHファイルを弊社までご送付ください。また故障発生時のディスプレイの表示内容を連絡下さい。

\* ネットワークの運用条件によっては、LZHファイルをメール添付できない場合があります。その場合は、拡張子をDOCなどに変更して送付ください。

（５）最後の故障のみを読み取る機能（オプション、バージョン 2. x 以降）

ソフトウェアをインストールしたフォルダに、OnlyLastFault.zip が保存されています。このZIPファイルを解凍すると、コマンドラインに“/1”を付加したショートカットファイルが生成されます。このショートカットを実行することで、最後の故障波形のみを読み取ります。



（６）ドライブデータベースを読み取る機能（オプション、バージョン 2. x 以降）





最後の故障波形を読み取るオプションにて、“DB Load”のチェックボックスが選択可能となります。チェックを入れることで、故障波形を読み取る前に、ドライブ装置に内蔵されているデータベースを読み取ります。読み取った故障波形の設定値・変数・故障などのシンボル名は、データベースを元に変換されます。

## トラブルシューティング

手順どおりにやってもうまくいかない場合、以下をご確認ください。

### ○ネットワーク接続アイコンの確認

お使いのパソコンとドライブ装置との間の通信状態が、タスクバーのアイコンに表示されます。このアイコンの状態から接続状況が判ります。

	: 接続処理中を表します。	→しばらく待ってください
	: 接続完了です。	→ドライブと通信可能です
	: 限定的ですが接続完了です。	→ドライブと通信可能です
	: 未接続です。	→ケーブルまたはイーサネットポートに原因があります。

「未接続」の表示になる場合、以下をご確認ください。

- ・ドライブ装置の制御電源が入っていることを確認してください。
- ・パソコンのイーサネットコネクタ（有線LANコネクタ）、およびドライブ装置盤面のモジュラコネクタのケーブル接続を確認してください。

それでも「未接続」となる場合、あるいは「限定的接続」状態で通信できない場合、イーサネットコントローラの相性の問題の可能性もあります。

別のパソコンで試していただくか、ドライブとパソコンの間にハブをご用意ください。この場合、ケーブルはストレートケーブルを使用します。